

確定日（令和02 年 07 月 22 日）

事業コード

02010109

事業名

輸送機産業受注開拓支援事業

部局名

産業労働部

課室名

地域産業振興課輸送機産業振興

政策コード

02

施策コード

01

指標コード

01

班名

輸送機産業振興班

(tel)

2242

担当課長名

松井信光

担当者名

飯島洋幸

事業年度

令和02年度

～

令和02年度

1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか)

・輸送機産業（自動車、航空機等）への部品サプライヤー参入は通常ハードルが高い。・新型コロナウイルス感染症の影響により輸送機産業の国内製造拠点分散化の機運が高まっており、関東・中部・関西以外地域の企業にとってサプライヤー参入の好機である。・サプライヤー参入を目指す場合、量産受注の前に通常、試作により製造技術等を示す過程がある。・県内企業へ試作費を支援することにより、試作受注営業活動が促進され、試作受注実績から量産受注に繋げ出荷額増加を目指す。

2. 住民ニーズの状況

①ニーズを把握した対象

■ 受益者 □ 一般県民 （時期： R02 年 05 月）

②ニーズの把握の方法

□ アンケート調査 □ 各種委員会及び審議会 ■ ヒアリング □ インターネット

□ その他の手法 （具体的に

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み									
事業の期待される成果		次年度以降の試作受注継続や新規試作受注、量産受注							
指標Ⅰ	指標名	試作継続・新規受注率							指標の種類
	指標式	(試作継続件数＋新規試作受注件数＋量産受注件数)／助成件数							●成果指標 ○業績指標
	①年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指 標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度
	目標a				100				100
	実績b			②データ等の出典					
	東 北 全 国			助成企業へのヒアリング					
③把握する時期 ● 当該年度中 06 月 ○ 翌年度 月 ○ 翌々年度 月									
指標Ⅱ	指標名								指標の種類
	指標式								○成果指標 ○業績指標
	①年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指 標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度
	目標a								
	実績b			②データ等の出典					
	東 北 全 国								
③把握する時期 ○ 当該年度中 月 ○ 翌年度 月 ○ 翌々年度 月									
◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法									
①指標を設定することが出来ない理由									
②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)									
事業の必要性									
現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性									
通常新規参入が困難な産業であるが、拠点分散化の動きにより参入の機会が生じた。企業の開発試作費捻出困難という課題に対し、試作費を支援することで、試作実績を増やし将来の量産受注につなげ、出荷額増加を目指す。									
住民ニーズに照らした事業の必要性									
新規参入機会がある中、試作費捻出困難という状況のため、試作費への支援ニーズがある。									
事業の県関与の必要性									
☐ 法令・条例上の義務 ☐ 内部管理事務 ☐ 県でなければ実施できないもの									
☒ 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの									
受注する製品によっては単独企業では完結しないものも想定されることから、県が県内企業のマッチングを図り県内サプライチェーン構築することが、コスト削減につながり将来の量産受注可能性も上がるほか、本県においては脆弱な財務体質の中小企業が多く量産に向けた入口である開発試作に係る経費を県が支援するなど、県が関与すべきと考える。									
政策評価委員会意見								重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定	
								○重点事業 ○その他	